

ご利用案内

ご利用開始／平成22年10月(予定)
定休日／毎週月曜日(月曜日が祝祭日のときはその翌日)
九州国立博物館の休館日と同様
(詳細は九州国立博物館ホームページをご覧ください)
利用時間／9:30~13:00・13:00~17:00
(搬入・搬出等の時間も含まれます)
施設利用料／9:30~13:00[4,340円]・13:00~17:00[4,960円]
(宝満亭全室) ※吉兆庵は、占有使用はできません。
予約方法／まずはお電話にて利用状況をご確認下さい。
受付はご利用の4ヶ月前よりお受けします。

アクセス

鉄道[西鉄利用]
西鉄「福岡(天神)」駅から西鉄「二日市」駅で太宰府線へ乗り換え
西鉄「太宰府」駅下車後、徒歩で約10分
鉄道[JR利用]
JR「博多」駅から鹿児島本線でJR「二日市」駅下車後、タクシーで約15分
自動車[九州自動車道利用]
太宰府「IC」または筑紫野「IC」から高雄交差点経由で約20分

お問い合わせ

九州国立博物館 交流課
福岡県太宰府市石坂4-7-2 TEL.092-929-3602

九州国立博物館で楽しむ

茶の湯の歴史と美術

4階の文化交流展示室へも是非、お越し下さい。
そこには茶の湯の源流、室町將軍家の書院の世界が展示されています。
そこで出会えるかもしれない九州国立博物館所蔵の
唐物や和物の名品をご紹介します。

01 | 周茂叔愛蓮図

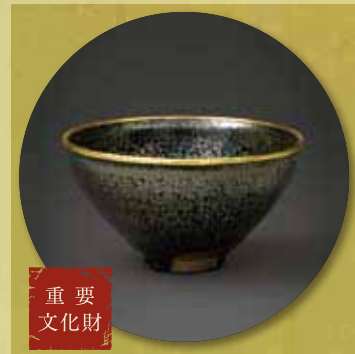
[しゅうもしゅくあいれんず]
筆／狩野正信

室町時代／15世紀

柳の枝をゆらして一陣の風が
吹き抜ける水辺。その船上で
蓮を愛でる高士をみて、室町
時代の人々は中国文化に対
する憧れを抱きました。作者
の狩野正信(1434-1530)
は、銀閣の建立で有名な
足利義政の御用絵師をつと
めました。



国宝



重要文化財

02 | 油滴天目 [ゆてきてんもく]

中国・建窯／南宋時代 12-13世紀

室町時代、「曜変」の一万疋に次いで、五千疋の価値があるとされたのが油滴天目です。漆黒の釉に油の滴のように浮かぶ斑文の美しさがその名の由来。江戸時代の大名茶人、松平不昧の愛した名碗です。

03 | 楓流水鶏図釜 [かえでりゅうすいけいずがま]

芦屋／室町時代・14-15世紀

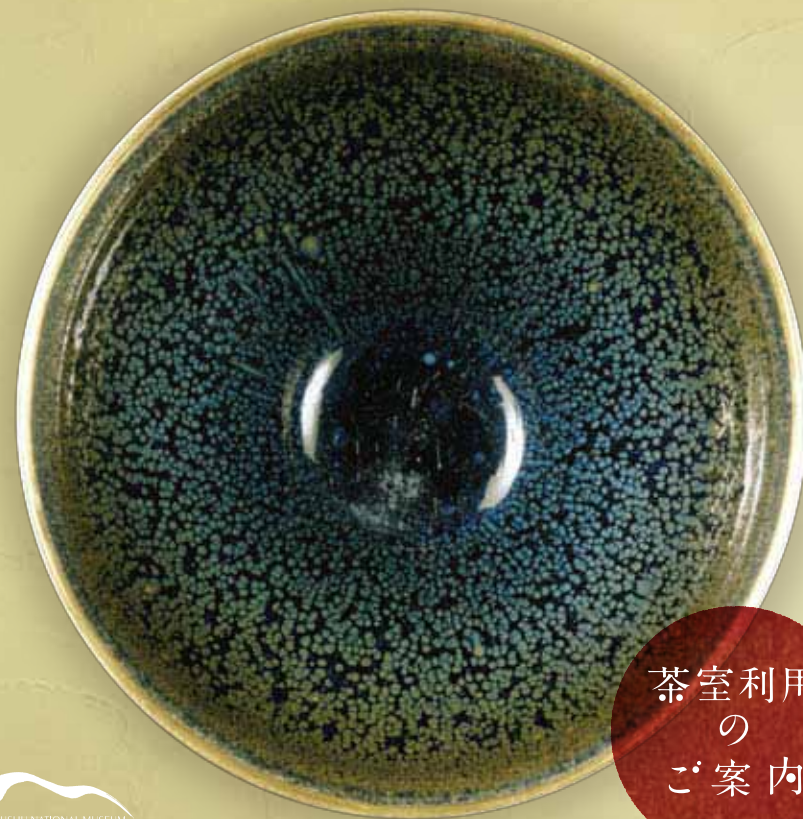
福岡県の芦屋で作られた釜は栃木県の天明とともに茶の湯釜の最高峰とされてきました。元は真形で、二羽の鶏、楓、流水が浮文で現わされています。優雅な文様に魅力があります。



重要文化財

展示作品は時期によって異なります。ホームページなどでご確認ください。
秋には茶の湯のトピック展示も開催いたします。

KYUSHU NATIONAL MUSEUM
九州国立博物館

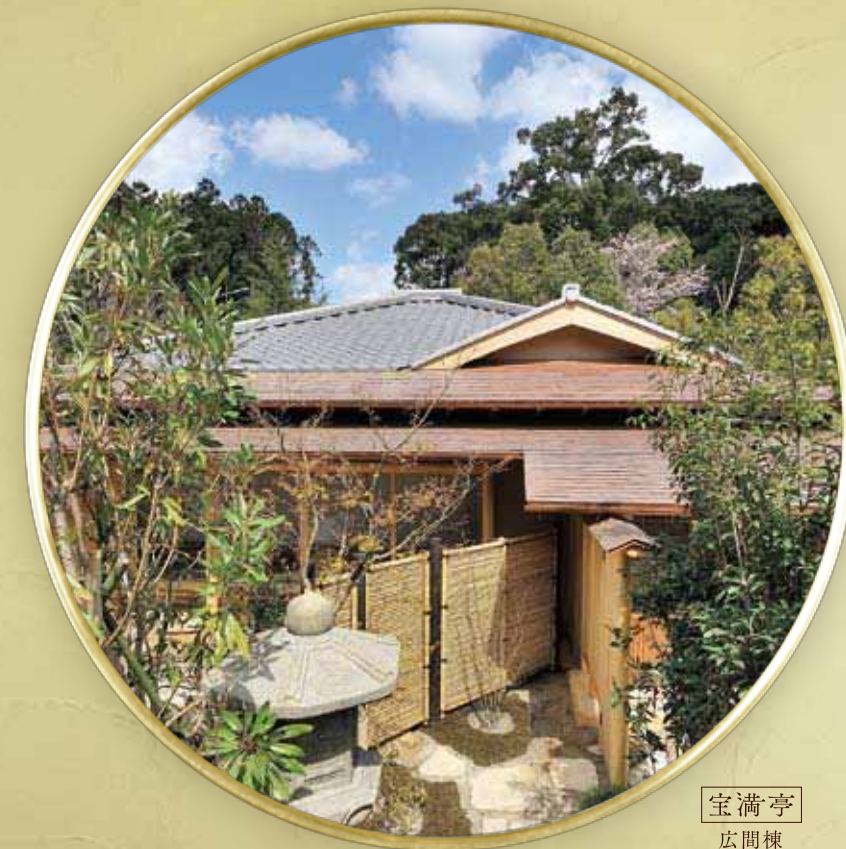


茶室利用
のご案内

平成22年(2010)秋、
九州国立博物館は5周年を迎えます。
この節目の年に、待望の茶室が誕生いたしました。
日本の文化を体感し、体験する場。
九博の展示室でご覧になった作品が、
こうした場で生きるのだと感ずる場。
茶室で体験した日本の文化の源を、美の粋を、
展示室で見て、感じて、学んでいただく。
九州国立博物館ならではの
茶室の魅力に
触れていただけますように。



吉兆庵
小間棟



宝満亭
広間棟

